特集

佐SAGA賀

故郷の力

MOTEMOTE・2014

4周年を迎えたモテモテさが。記念すべき特集は「故郷（ふるさと）の力」である。故郷を離れて活躍する人たちに、それぞれの道のりや地元への思いを語ってもらった。

先日、「AKB48 37thシングル選抜総選挙」において、選抜総選挙史上最多の15万9854票を獲得し、前年1位となった指原莉乃さんを抑え、初の選抜総選挙1位となった渡辺麻友さん。地元の想い出と、意外な？佐賀への親近感を聞いた。

AKB48をはじめ、たくさんのアーティストに楽曲を提供している佐賀市出身の音楽家・宮島律子さんには、これまでの音楽活動の思い出や、地元から夢を目指す人へのメッセージをもらった。沖縄で大人気の焼肉店を経営する岸川晃佳さん。その根底にある佐賀で培った商売道を尋ねた。

人間は生まれ育った環境に大きく影響される。だからこそ、この街をもっともっと良い場所にしていこう。

AKB48
渡辺麻友さん

音楽家
宮島律子さん

焼肉店「おばあの家」代表
岸川晃佳さん

特集

佐SAGA賀

故郷の力

MOTEMOTE・2014

AKB48 渡辺麻友さん

「故郷の力」――。先日行われた「AKB48 37thシングル選抜総選挙」で史上最多の15万9854票を獲得し1位となった渡辺麻友さん。8年目にして初めて一番高い席に座った渡辺さんに、地元・埼玉のことや、佐賀に関する思いを聞いた。

（聞き手＝本誌発行人・橋詰 空）

一番嬉しかった

――総選挙1位おめでとうございます！　まずはその感想を聞かせてください。

とにかく嬉しかったです。ずっと1位を目指してきたので、それが実現できるなんて、今まで生きてきた中で、一番嬉しかったです。

――1位に選ばれたときのスピーチが素晴らしかったです。あれはその場で考えたんですか？

あの時は本当に余裕がなかったんです。全然真っ白でした。ある程度は考えていたんですが、順位が近づくにつれて、余裕がなくなってきてしまって…。スピーチのときも、いざマイクの前に立ったら、言葉が出てこなくて。これまでの総選挙のスピーチの中で、内心、今年が一番テンパってました。

――これまでAKB48で一番つらかった思い出と、楽しかった思い出を教えてください。

うーん…、つらかったのは、ブレイクする前の下積み時代ですね。この先、AKBで大丈夫かな、という不安な時期がありました。楽しかったのは、たくさんあるんですが、歌い踊ることが大好きなので、全てのコンサートが楽しい経験です。今年3月の国立競技場などの大きな舞台になると、より一層、達成感があります。

緑が豊かな原風景

――今回のテーマは「故郷の力」です。埼玉県出身と聞きましたが、どのような所ですか？　また埼玉人の特徴は？

生まれ育ったのは大宮市（現さいたま市）です。私が住んでいたのは都会ではなくて、緑が豊かな場所。自宅に

佐賀には勝手に親近感を持っています

は家庭菜園があって、父が野菜を育てるのが好きで、仕事をしながら日曜日には畑仕事をしていました。栽培していたのは、キュウリやナスなどメジャーなものです。

埼玉の一部は都会ですが、自然も多いんです。秩父の方は山が深く緑には恵まれています。埼玉人の特徴は、これといって無いのかも。東京に近いので都会でもあり、田舎でもあり…。名産品は深谷ネギとかですかね。名所はさいたまスーパーアリーナ。いろんなアーティストがコンサートを開催していて自慢の施設です。

――埼玉の思い出や、浮かんでくる風景は？ 小さいときはどのような遊びをしていましたか？

田んぼが広がっていて、川が流れているのどかな風景が思い浮かびます。ちっちゃい時は、公園など外で遊ぶことが多かったです。種まきとか、収穫とか畑仕事もよく手伝っていました。今でもやっぱり実家に帰ると落ち着きます。

――地元から支えられていると感じる瞬間は？

東京での活動が中心ですが、たまに埼玉での仕事とかさいたまスーパーアリーナでコンサートをするときは"ホーム"なので、温かいなと感じるときがあります。地元が応援してくれているんだ、と伝わってきてすごく嬉しいです。AKB48にも埼玉出身のメンバーがたくさんいます。以前、さいたまスーパーアリーナでのコンサートでは、埼玉出身メンバーでMCを担当したりしました。

――埼玉の方言を教えてください。

方言はあまりないんですよ。普通の標準語です。HKT48とかすごくうらやましいです。HKT48のメンバーがしゃべっているのを聞いていると、博多の言葉がすごくかわいらしい!!

佐賀人といえば朝夏さん!!

――佐賀に来たことはありますか？

まだないですね。九州にはコンサートや握手会で何度か来たことはありますが。

――佐賀出身者で思い浮かぶ人を教えてください。

宝塚がすごく好きなので、朝夏まなとさんや夢乃聖夏さんが思い浮かびます。このお二人がいらっしゃるので、佐賀には勝手に親近感を持ってしまいます！

――朝夏まなとさんの大ファンということですが、どういうところがお好きなんですか？

姉妹で宝塚劇場を見に行ってからファンになりました。朝夏さんはすごい輝きを放っていて。身長も高くて、手足もすらっとしていて、スタイルも良くて、舞台の上での存在感が大きかったです。素敵だなと思いました。

――佐賀人というと、だいたい江頭2:50さんや、はなわさんの名前が挙がるんですが。

佐賀は朝夏さんのイメージですよ！ みなさん一緒に朝夏さんを応援しましょう！

――佐賀名物は何か知っていますか？

有田焼や呼子のイカ、そして佐賀牛ですね。お肉大好きなんで食べにいきたいです。

――モテモテさがは毎月10万部を佐賀市の全家庭に配布しています。ぜひメッセージを！

佐賀市のみなさんに届くんですか、すごいですね!! まだ佐賀に行った事はないですが、ずっと行きたいと思っています。全国ツアーでは、自分が所属するAKB48チームBで行きたいと勝手に思っています。AKB48のライブを見た事がない人も、あまり関心がない人も、それをきっかけに興味を持ってもらえたら嬉しいです。

プロフィール

わたなべまゆ　通称"まゆゆ"。AKB48、渡り廊下走り隊7のメンバーとしても活躍。2012年2月29日にデビューシングル「シンクロときめき」でソロデビュー、同年7月には2ndシングル「大人ジェリービーンズ」、さらに、11月には3rdシングル「ヒカルものたち」を発売し、ソロとしては自身初のオリコンウィークリーチャート1位を獲得!! 6月8日に行われた"第5回AKB48選抜総選挙"では第3位を獲得し不動の人気を誇る。

AKB48 渡辺麻友さん サインプレゼント

詳しい応募方法はP132～のプレゼントページをご覧ください！

©AKS

未来を見上げながら前に

「AKB48 37th シングル選抜総選挙」1位コメント

私は2年前の総選挙のスピーチで、1位になりたい、という目標を掲げました。去年はその夢は叶わなかったのですが、その時は1位に向かって、ただひたすら頑張った1年だったので、ひたすら真面目に頑張って努力することだけが全てではないんだなと思い、一瞬は、1位になる、という夢を諦めかけた自分がいました。でもそんな時に、ファンの皆さんがたくさん温かい言葉をかけてくださって、次こそは絶対1位を取ろうね、と言ってくれて、私もその言葉を聞いて、こんなところで諦めてはいけないなと思い、次こそは絶対1位をとるんだ、と固く決心しました。

私は12歳のときにAKB48に入り、今年で20歳になりました。ここまで歩んできて、たくさんのことがありました。でも私は人生は一度きりなのだから、せっかく大好きなAKB48に入ったんだから、やれるところまでやりたいと思い、今日ここまで歩んできました。本当に今日まで諦めずにやってきてよかったなと思います。自分の信じた道を行き、ファンのみなさんを信じ、やってきて本当によかったです。

私がAKBに入った時は3期生だったので、先輩がたくさんいました。そこから後輩が増えて、姉妹グループもできて、それと共に私の尊敬する先輩もたくさん卒業されました。卒業はやっぱり寂しくて、私が入った頃のAKB48はどこへ行ってしまったんだろうと思うことはありますが、今、3期生として残っている私がしっかりと、力強く前を向いていかなければいけないなと思います。

©AKS

今まで先輩の背中を見上げながら後について いくように活動してきましたが、先輩ももう少なくなり、そして今日こうして1位という、本当に素晴らしい1位を頂いたので、もう先輩の背中を見上げて後についていくことはできません。これからはたくさん今いる後輩たちが私の背中を見て、ついていきたいと強く思ってくれるようなそんなメンバーになりたいと思います。そしてこれからは先輩の背中を見上げるのではなく、AKB48グループの未来を見上げながら、そして初心を忘れずに、感謝の気持ちを胸に、前へと進んでいきたいと思います。

特集

佐SAGA賀

故郷の力

MOTEMOTE・2014

音楽家 宮島律子さん

プロフィール
みやじまりつこ　尚美学園において、和声学・作曲法などを学ぶ。妹である理絵（M Rie）と共に、MILK として他のアーティストとの LIVE、レコーディングなどでも活躍中。

AKB48をはじめ、田原俊彦＆研ナオコ、西城秀樹など数々のアーティストに曲を提供している佐賀市出身の宮島律子さん。これまでの活動を中心に、AKB48楽曲提供の裏話、今後の目標などを伺った。

ポプコングランプリ

――宮島さんは、楽曲提供のほか、妹・理絵（M Rie）さんとのユニット「MILK」として他のアーティストとのLIVE、レコーディングなどでも活躍中。これまでの道のりを教えて下さい。

母が音楽の教師をしていたので、音楽は幼いときから生活の一部でした。絶えずレコードが流れていたり、体に染みついていました。佐賀清和高校を出て、東京にある尚美学園の専門学校に進みました。

本当はシンガーソングライターになりたかったんです。ピアノを弾きながら歌うような。横浜で始めたバンドで、85年に第29回ヤマハポピュラーソングコンテストのグランプリを受賞しました。でもバンドでデビューとなると難しかった。やりたい世界がみんな違っていて。

処女作は1988年、中里あき子さんに提供した「蒼いモナリザ」です。シングルのA面でした。作曲以外でも、少年隊さんや西城秀樹さんのバックコーラスも担当しました。PSY・S（サイズ）さんのバックでは夜のヒットスタジオに出演しました。

――歌手への提供のほか、恋愛シミュレーションゲーム「ときめきメモリアル」やアニメ「それいけ！アンパンマン2007劇場版」の主題歌などの手がけていらっしゃいますね。

「ときめきメモリアル」は一番多く書いていて、本当に嬉しいことに、楽曲ファン投票で1位を獲得しました。ときメモの良いところは、ちゃんとした音楽を作ろうという基盤があったことと。いま、聞いても古くないし、きちっと作っています。

まさかこんな歌に…

――AKB48のプロデューサー・秋元康さんとの仕事はいつ頃から始まったんですか。

97年に出た、ともさかりえさんのファーストアルバムを秋元さんがプロデュースしていて、その中の1曲「カフェが終わって」を提供してからです。最初は秋元プロデュースというのを知らなくて、出来上がってきた後に、あっ秋元さんが歌詞を付けてくださったんだ、と思いました。

AKB48とはインディーズの時代からの付き合いです。最初の劇場公演では関係者以外のお客さんが7人だけ。最初の、「大丈夫かな」と思っていた時代から付き合いがあるので、今の、世界的に人気を得ている状況が夢のようです。でも初心は忘れない。売れなかった時代からずっと取り組んでいることを継続しています。

――AKB48ではどのように歌が作られていくのか。

まず、いろんな作曲家に曲のコンペのオファーが来ます。いっぱい集まった中から、これを使おうとジャッジする。どういう選び方をしているのかは分かりません。それから秋元さんが作詞をするので、出来上がるまで、どうなるか分かりません。

先日、HKT48九州ツアーの佐賀公演昼の部で、さっしーが「おしべとめしべの夜の蝶々」を歌ってくれたと聞きました。実際あの曲が出来上がったときに、あんな世界観の歌詞に仕上がるとは全く思っていませんでした。

AKB48劇場の「最終ベルが鳴る」公演の通し稽古を見に行ったときに、いきなり女の子同士絡み合っているんでびっくりしちゃいました。タイトルにも驚きました。まさかこんな歌になっているなんて…。

聖子さん提供で自信

――これまでの仕事で一番気に入っている曲は？

AKB48なら「純愛のクレッシェンド」です。所属事務所の社長さんが気に入ってくれて、ノースリーブス（小嶋陽菜、高橋みなみ、峯岸みなみさん）結成のきっかけになりました。2014年のリクエストアワーでも10位を獲得するなど、いまでも愛されていて嬉しいです。95年に発売された内田有紀さんのファーストアルバム「純情可憐乙女模様」に収録された「お世話になりました」も大好きな1曲です。浅田美代子さんの「赤い風船」みたいな懐かしい感じの曲を歌ってほしいな、と感じて、なぜか井上順さんの顔が浮かんだんです。そこで「お世話になりました」というタイトルで書いてみようかなと思って1分半くらいで出来ちゃったんです。プロデューサーの武部聡志さんが、この曲は最高だと言ってくれて、アルバムの中でも一番大切にレコーディングしてもらいました。

――この世界でやっていける、と自信を持った曲は？

松田聖子さんに提供した「月のしずく」です。聖子さんはファルセット（裏声）を使わないことで有名なのですが、この曲は唯一、サビの部分で使ってくれています。作詞はあの松本隆さん。ものすごく貴重な経験となりました。

――AKB48の岩佐美咲さんに提供した「鞆の浦慕情」では演歌。仕事の幅が広いですね。

実は尚美学園時代に演歌を学んでいました。クラシックの学校だったんですが、演歌のアレンジをされている伊戸のりおさんがいらっしゃって、その下で勉強していたんです。当時から演歌を書きためていたので、いつか演歌をリリースできたらな、と思っていました。

――今後の目標を教えてください。

昔は国民全員が、イントロから覚えていて、Aメロから歌詞も見ないで歌える曲がありました。大みそかは、わぁこの曲がレコード大賞とれて良かった、と家族で喜び合っていました。ここ数年、そういう歌が少なくなってきました。歌謡曲の文化が薄れ、その時しか売れない歌が増えています。でもAKB48が出てきたことで、長い期間に渡って、みんなが親しめる歌が生まれたような気がしています。

自分が好きなアーティストが、たくさんの人に永く愛される歌で、賞を獲ってほしい。願わくば、自分が作曲したものが、そういう風に親しまれて、全国みんながレコード大賞として拍手をもらえるような楽曲を残せたらいいな、と思っています。

――最後に佐賀市民にメッセージを！

どんな仕事でも、あきらめたらそこで終わり。挑み続けることが大事だと思います。足踏みであっても立ち止まらないこと。いろんな業界が大変な時代です。自信を無くして辞める人が多いですが、夢を持つことを忘れないでほしいですね。

永く愛される歌でレコ大を

宮島律子さん　仕事一覧

【主な作品】
AKB48「青空よ 寂しくないか？」AKB48 Album「1830m」収録曲「蜃気楼」「純愛のクレッシェンド」「アイドルなんて呼ばないで」「Two years later」「おしべとめしべの夜の蝶々」「黒い天使」「君のために僕は…」26th「真夏の Sounds good !」劇場盤 c/w
NMB48「冬将軍のリグレット」／6th シングル c/w
SDN48「孤独なランナー」「GAGAGA」M2「孤独なランナー」「NEXT ENCORE」アルバム「誘惑のガーター」収録曲／**相沢友子**「真夏の午後」／**阿川泰子**「UNICORN」／**石嶺聡子**「夏の太陽」／**岩佐美咲**「鞆の浦慕情」／**内田有紀**「お世話になりました」「踊る Crazy Girl の冒険」／**笠原弘子**「大切な時間」「特別な朝」（作詞）／**カミタミカ**「Trap of Jewel」「ALONE」／**金月真美**「You'll be my love ～もうすぐ恋になる～」「忘れないでネ」「kiss の行方」「I feel」／**國府田マリ子**「涙をふいて」「さよならが言えない」／**児島未散**「昼下がりの退屈」「やっと、想い出と呼べる」／**後藤邑子 Gigson**「Daydream breeder」／**さくまけい**「乾いた現実」／**シエル**「Tangerine」／**姿月あさと**「東京タワー」「Actress」アルバム収録曲／**田原俊彦 & 研ナオコ**「恋すれどシャナナ」／**田村ゆかり**「お散歩しようよ」（詩曲）「わがままな I love you」／**丹下 桜**「2色だけのパレット」「Day dream」「それがあなたのいいところ」／**ともさかりえ**「カフェが終わって」／**ドリーミング**「シャボン玉のダンス」／**長山洋子**「愛ありがとう」／**ねぎま（長谷川千雨）**「スキになってもｅーよ」／**はるな**「miss you ～あなたへの想い～」／**藤崎詩織**「記憶の最初から」「風になってその胸に」／**古郡慈子**「この都会の女神には未来がない」／**ペドロ & カプリシャス**「Oh...baby love」／**星野真里**「きらきら」／**松田聖子**「月のしずく」／**ミスゴブリン** 月光其方へ「月花火人」／**水沢瑤子**「薔薇の神話」「水曜日 22時」「さよならの引き金」／**みっくす Juice**「乙女に捧ぐ…」／**雅**「あいだはいり」／**ミューア**「夏の幻」「砂時計」／**森口博子**「きっと会いたくなるでしょう」「スピーチに真実（ホント）なし」「夢ならさめないで」「春風とあなたとランチ」「LOVE FUTURE」／**渡辺麻友**「新宿優等生」「シンクロときめき」c/w／**渡り廊下走り隊 7**「思い出は遠いほど ...」9th シングル c/w／**天野マリア**「dejavu」／BS アニメ天使のしっぽ 主題歌 OP テーマ「天使のしっぽ」／エクスドライバー「主題歌スナイパー劇場版映画主題歌 TARGET」／テレビ東京アニメ・ぱにぽにだっしゅエンディングテーマムーンライトラブ（詩曲）
【その他作品】
NHK BS アニメ 彩雲国物語／まなびストレート／となグラ／ラムネ／舞 HIME
【その他の作品提供アーティスト】中里あき子／LIPS／富沢美智恵／キ–ウエストクラブ／ザ・ポチ！／Jam Cream／秋本祐子／佐藤美樹／堀江美都子／坂井美唯子／小林清美／中川亜紀子／ときめきメモリアル／小西寛子／藤崎詩織／館林見晴／菅原祥子／しあわせクロワッサン／松田聖子
【CM】
ロ–ソン／コイケヤポテトチップス／トヨタカロ–ラ／厚木レンタカ–／サマ–ランド／横浜タイヤ／MK カシマヤグループ／長野 FM ／北海道 HOTEL 大寒／ポリデント
【VOCAL】
アニメ「ア–シアン I,II,III」エンディングテ–マ／映画サントラ／アニメ「巴がゆく」／角松敏生（FM ロゴ）／「エクスドライバ–」エンディングテ–マ
【RCO（コ–ラス）】
Toshitaro／三原じゅん子／尾高千恵／富沢美智恵／西城秀樹／河合奈保子／松原みき／MIE／CHA CHA／中里あき子／中野理絵／清水宏次郎／畑とも子／田中美奈子／サイコヒステリックス／本木雅弘
【LIVE（コ–ラス）】
Toshitaro／亜蘭知子／少年隊／河合奈保子／可愛かずみ／尾高千恵／石川よしひろ／中里あき子／渡辺　徹／京本正樹／笠森ゆうき／西城秀樹／田村英里子／PSYS／MIE／工藤夕貴／高橋由美子／鮎川まみ／生稲晃子／今井美樹／田原俊彦／田中美奈子／中嶋美智代／國府田マリ子
他（アーティスト名等、順不同）

特集

佐SAGA賀

故郷の力

MOTEMOTE・2014

佐賀で磨いた接客術 沖縄で開花

焼肉店「おばあの家」代表

岸川晃佳さん

プロフィール
きしかわてるよし　沖縄県名護市にある、焼肉店「おばあの家」代表。20歳から美容師を始め、25歳で美容室Snob（スノッブ）を開店、32歳で閉店、34歳で単身沖縄に渡り、焼肉屋で2か月のアルバイトを経て、店長を務める。37歳で自身の店、「おばあの家」を開店し、月商1000万円の人気店になる。

ふるさと佐賀から沖縄に移り住んで7年。月商1000万を超え、芸能人もお忍びで訪れる人気焼肉店のオーナーになった、岸川晃佳さんに、成功までの道のりと、佐賀への思いを聞いた。

アルバイトから出発

――焼肉店を始めたきっかけをお聞かせてください。

沖縄へ、貯金の20万円だけを持って、着の身着のまま移り住みました。宿も無ければ仕事も無い状況で、知人に住み込みで働けるところを紹介して欲しいとお願いしたら、焼肉店のアルバイトを紹介してもらいました。680円の時給からスタートしたのですが、なんとそのお店はオーナーからして素人集団で、お客さんがゼロの日もざらでした。焼き肉店の常識としてタレがついていないものから先に出すなど、自分でも知っているような基本的な事さえ出来ていない有り様で…。思い切って、お店のおかしいところをオーナーに指摘していたら、重宝がられて、2か月後には店長になってたんです。

それからは、美容師時代に身についた接客技術も功を奏してか、順調に人気店への道を歩むことが出来ました。店長として4年間勤めていたのですが、オーナーが焼肉屋をやめて他業種に進出することになり、それなら自分でお店を経営しようと決心しました。

――それは波乱万丈ですね。繁盛の秘訣は何だと思いますか。

飲食店が繁盛するには、素晴らしく美味しい料理を出すか、素晴らしい接客をするかのどちらかだと思っていました。自分自身は焼肉店へ食べに行ったことはありましたが、料理は素人です。しかし接客なら、佐賀で美容師を10年以上経験し、自信がありました。借金をして開店した店は、大ブレイクとはいかなくとも、きちんと返済も終え、そこそこ経営出来ていましたから。今のお店は、お肉もノンブランドではありますが最上級の国内産黒毛和牛A5ランクのお肉を安くボリュームたっぷりで提供してお客さまに喜ばれています。

――良かったらその接客術を教えてもらえますか。

特に変わった事をしているわけではないですよ。お客さまの求められている事の、一つ先を予想するように気を付けています。とにかく待たせないこと、またお客さんに押し付けがましくならないよう、お客さんが求めている物を迅速に提供する、そういったところでしょうか。

リピーターを獲得する

――お話を伺っていると、ごく当たり前のことのように聞こえますね。

そうなんですよ、ごく当たり前の事なのですが、ここ沖縄では当たり前ではないのです。こちらは7、8、9月の観光シーズンに、観光客から1年分を稼いでしまうのです。ですから接客にも細かく気を使う習慣はあまりないようです。それでも次の年にはまた観光客で溢れかえるのですから、何もしなくてもいいやって雰囲気が表に出てしまうんですね。そこで私は、この店だから来てくれるというリピーターを増やそうと考えました。地元のアルバイトにも、将来どこに出ても通用するように、つらい目に遭わなくていいようにと、指導しました。

すると次第に、楽しかった、美味しかったとお礼の手紙が届くようになり、翌年にまた来ていただけるお客さんや、オフシーズンにも来店していただけるお客さんが増えてゆき、年間を通して売り上げを計算できるお店になりました。また、地元名護市出身の黒木メイサさんが噂を聞いて来店してくれるようになり、そこから赤西仁さん、宮沢りえさん、国分太一さん、水谷豊さん芸能人の方々も沢山おみえになるようになって更にブレイクしました。鈴木あみさんと、高岡蒼佑さんが来店された時は、テレビ局から取材依頼が殺到しました。

――接客には、神経をすり減らす気苦労もあったのではないですか。

たしかに大変なのですが、美容師として働いていた時より楽なんです。自分は美容師時代も、お店に来ていただくお客さまには一人ひとり真剣に向き合っていました。希望の髪型を伺ってから、シャンプー、セットまで、緊張を維持します。一人ひとりのお客さんに使う神経は相当なもので、今の仕事と比べようもありません、だって髪は一旦切ってしまうと、伸びるまでに時間がかかりますから、お客さんも辛い思いが長引きます。自分の挽回のチャンスも次回の来店時しかありませんし、もしかしたら、もう来てもらえなくなるかもしれない。

いつかは佐賀に帰りたい

――ふるさと佐賀への思いを聞かせてください。

子供の頃から人を笑わせるのが好きで、学校でも父が経営していた寿司屋でも、アイドル的な存在でした。20歳の時に、父ががんで倒れて店を閉めることになり、自分の好きな事を一生懸命やりなさいと言われて、美容師の修業を始めました。父親を安心させたい一心で、25歳で自分のお店をオープンさせたのですが、27歳で父を亡くすと、抜け殻のようになってしまいました。毎日遊び歩いて、仕事に身が入らず、人にも会いたくなくなり、32歳から3年間工場で働いたりしました。

そして以前一人旅で訪れた時に一目ぼれした沖縄に渡り、すべてリセットしようと思ったんです。応援してくれた人はごく少数でした。最初は自分を馬鹿にした人を見返してやりたいという想いの方が強かったのですが、今は、自分を応援してくれた人を安心させてあげたいという想いが強いです。最近では福岡に、接客の講師として呼ばれることもあり、佐賀にも行く機会がありました。お店に来てくれる、地元佐賀の人の数は毎年増えており、心から感謝しています。これからも人を笑わせるのが好きだった子供のころの気持ちのまま、沖縄で頑張って、いつか佐賀に戻りたいです。